

東日本運転協議会「臨時役員会」開催！

2月11日、新橋・交通ビル会議室において東日本運転協議会臨時役員会が開催されました。



役員会は、通常年一回7月頃の開催ですが、昨年10月29日に提案を受けた「グループ会社と一体となった業務体制のさらなる推進」のボリュームが大きく、この施策が実施に移されれば検修業務の殆どが外注化され、若年出向が前提となる施策であることから役員会で緊急に意思統一が必要との議長判断から、臨時に召集されました。

現在、第二次解明要求を「申15号」として会社側に提出した段階ですが、今までの運動を検証し、運転協議会としてこれからの運動をどのように組み立てていくのか集中して議論すること、又、各地方での

施策に対しての取組み等を出し合いながらの役員会となりました。

東日本運転協・木立議長からの問題提起として。

昨年の10月末の提案で4月1日以降準備でき次第という期間を考え、スピード感を持って対処してきたが運動で足りなかった面も多々ある。今日は、この問題での集中した議論をお願いしたい。現在第二次解明要求を会社側に提出した段階だが、実施時期を考えた時これからもスピードを持って対処していかなければと思っている。通常は一年以上かけて議論をしなければと思うが、会社側がかなり急いでいるように見受けられる。国労としても頑張りどころだと考える。今日は、皆さんの率直な意見を出し合って議論を深めてほしいと挨拶しました。

東日本本部より武笠執行委員に情勢等の挨拶をいただきました。

①東日本委員会が2月7日開催され、春闘を初めとした春の闘いを意思統一した。②JR 不採用問題では、この間の動きについて順を追っての経過と、NHKでの報道以来、解決の機運が高まっている。2.16集会は必ず成功させる。③差別根絶の闘いでは、まだ差別感があるが、昨年の労働協約改訂時にも交渉をしてきた。今後中心課題として取組んでいく。

④安全問題では、信濃川発電所不正取水から支社境界の変更の提案があった。転勤も発生しかねない問題も含んでいる。遠距離通勤なる可能性もあることから、地本の意見を参考にしながら対処していく。依然として輸送障害が多発しているが、この間踏切事故が多かった。又1月27日は貨物列車脱線事故、北上線での保守用車の雪害による脱線事故も出ている。小雪が続いていたため雪害対策をしっかりとしていかなければならない。⑤検修の外注化問題では、東日本本部として分会単位での集会・学習会に参加してきた。ブロック別集会も計画し行ってきた。エリア本部が分会まで出向いて参加体制をとったのは初めての試み。

今後の動きとしては、設備メンテの提案があったことから、不透明な部分がある。

4月実施を頭に描きながら対処していく。⑥春闘関係の動きについて。

挨拶を受けた後、木立議長より本日の議題となっている外注化施策に対するこれまでの取り組みと今後の運動に対する提起を受けた。主な点は、

- ① 他労組組合員を巻き込んでの反対運動。
- ② 二次解明要求は提出したが、この要求に肉付けをして会社と対峙しなければならない。
- ③ ならない。各地方で、実情を調査してほしい。
- ③ 法令・省令上



④ での問題点（安全な車両を提供しなければならない点）での追求。④解明後の基本要件作りについて。

提起を受け、質問や意見、各地方での取り組みを出し合う！

主な発言は、

- ・ 4月1日実施ということで取組んでいるが、実情としては難しいのではないかな。
- ・ 会社が出した車両投入計画が変更されている。新系列車両は直営での検査とあるがどのようなのか。
- ・ 地方でも独自ビラ作成・配布、分会単位でも作って春闘と絡めて運動をしている。
- ・ この間、貨物の脱線事故があったが、線路は旅客会社である。貨物会社が出動して復旧したが旅客には報告だけ。貨物会社との連携はどうなっていくのか。外注化されたら、ますます不安。
- ・ エルダー社員としての面談が中断されたままとなっている。
- ・ 外注化提案後の進捗状況は。どう進むのか。
- ・ 他労組の若い人はことさら我慢している。整備会社と交流しているが、休日が10日も違う労働条件となっている。
- ・ 運転協としても、他労組の不平・不満を出させていく運動に取り組んでいる。職場で働く労働者は、皆反対の気持ちだ。
- ・ 手待ち時間を別の仕事に借り出されるのでは。
- ・ 偽装請負について学習会も必要。資料も作ってもらえれば。

その他、春闘やダイヤ改正、ライフサイクルの発令に関して等、盛りだくさんの意見が出されました。



安全な車両を確保するために木立議長から提起！



現在、春闘行動やダイヤ改正等様々な行動がある時期です。交渉日程もまだ出されていませんが、外注化に対しての運動と絡めて創意工夫した行動を地方からお願いしたい。組織拡大につながる展望を持った運動の追及も必要。また、これからも運転協として調査・検証に基づいた要求を追及していく。そのためにも、各地方で提起された調査をお願いしたいと訴えました。

そして最後に、団結ガンバローを三唱して終了しました！

各地方、役員の皆さん緊急役員会ご苦労様でした、安全な車両の確保と、そのための労働条件を守るために共に頑張りましょう！